



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋
 コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・システム部門担当取締役 (氏名) 寺岡 成晃

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,468	65.0	1,702		1,683		2,700	
2020年3月期第1四半期	9,917	1.3	101	11.3	129	79.5	49	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,679百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 37百万円 (232.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	119.61	
2020年3月期第1四半期	2.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	42,017	11,412	25.8	480.32
2020年3月期	36,631	14,094	36.9	598.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,842百万円 2020年3月期 13,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響等先行き不透明につき、適切かつ合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	22,610,359 株	2020年3月期	22,610,359 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	36,124 株	2020年3月期	36,124 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	22,574,235 株	2020年3月期1Q	22,574,235 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、政府からの緊急事態宣言が発出され、外出自粛要請等により消費活動が著しく減少したため、国内の景気は極めて厳しい状況となっており、また、緊急事態宣言の解除後も国内外で同感染症の感染及びその影響が続いていることから、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、各自治体からの営業自粛や時間短縮要請による店舗の休業や短縮等に伴い集客数は大きく減少し、非常に厳しい経営環境となりました。緊急事態宣言解除後は徐々に営業が再開いたしましたが、感染拡大を防止するため社会が新しい生活様式に変化していくことに対応する必要が生じております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、レストラン事業では、4月と5月は多くの店舗が休業や時間短縮での営業となりました。営業再開後においては、感染拡大防止の観点から店舗の衛生管理を徹底して行うとともに、デリバリーサービスやテイクアウト可能な店舗の拡充を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高34億68百万円（前年同期比64億48百万円減）、営業損失17億2百万円（前年同期は営業利益1億1百万円）、経常損失16億83百万円（前年同期は経常利益1億29百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失27億円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、4月に(株)雪村及び(株)ゆきむら亭エフシー本部（以下、あわせて「雪村」）の株式を100%取得しグループ会社としたことで、2018年10月に連結子会社とした茨城県北部を中心にラーメン店等を展開する(株)壺番亭本部とともに関東東部地域におけるラーメン店経営の地盤を強化いたしました。また、当社のレストラン事業でこれまで採用していないセントラルキッチンによるドミナント展開をしていることから、当社グループのレストラン事業におけるシナジーの発揮を見込むとともに、「雪村」においてもフランチャイズ展開のノウハウを有していることで当社のフランチャイズシステムの更なる強化を図ってまいります。

新店はそば部門の「おらが蕎麦」1店舗、(株)壺番亭本部の焼肉業態の「炎座」1店舗、及び「雪村」の直営店舗18店舗とフランチャイズ店舗16店舗の34店舗が新たに加わりました。また、改装3店舗を実施し、そのうち1店舗は業態変更を行いました。退店は13店舗であり、そのうち2店舗はフランチャイズ店舗へ移管致しました。この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、38都道府県に443店舗（フランチャイズ店舗86店舗を含む）となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの店舗が休業・営業時間短縮したことにより集客数は大幅に減少したため、レストラン事業の売上高は21億30百万円（前年同期比69.2%減）、セグメント損失12億95百万円（前年同期は2億21百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

(株)エイエエスケータリングにおいては、新型コロナウイルス感染症に伴う渡航制限により航空会社の著しい減便により減収減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は1億93百万円（前年同期比88.3%減）、セグメント損失1億78百万円（前年同期は1億10百万円の利益）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等による巣ごもり需要の高まりにより冷凍弁当の製造が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は5億21百万円（前年同期比42.4%増）、セグメント損失58百万円（前年同期は1億12百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの、新型コロナウイルス感染症に伴うコストの増加等により増収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は1億75百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益72百万円（前年同期は79百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛による利用客の減少により減収減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は82百万円（前年同期比29.6%減）、セグメント損失38百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

(その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少したことから減収減益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は販売数量が減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は3億64百万円（前年同期比47.1%減）、セグメント損失39百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は149億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億78百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金41億23百万円の増加によるものであります。固定資産は270億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億8百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物7億11百万円及びのれん3億54百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、420億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億86百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は134億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億4百万円増加いたしました。これは主に短期借入金58億40百万円の増加によるものであります。固定負債は171億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億62百万円増加いたしました。これは主に長期借入金17億51百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、306億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億67百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は114億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億81百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失27億円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は25.8%（前連結会計年度末は36.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響等先行き不透明につき、適正かつ合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,414,584	12,537,612
預け金	440,367	401,332
売掛金	1,037,479	794,356
商品及び製品	369,922	577,117
原材料及び貯蔵品	296,451	329,284
短期貸付金	653	2,542
その他	446,757	345,225
貸倒引当金	△1,562	△4,658
流動資産合計	11,004,653	14,982,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,886,956	28,579,485
減価償却累計額	△19,259,442	△20,240,767
建物及び構築物 (純額)	7,627,513	8,338,717
機械装置及び運搬具	2,885,412	3,258,169
減価償却累計額	△1,962,678	△2,326,631
機械装置及び運搬具 (純額)	922,734	931,538
工具、器具及び備品	1,918,801	2,092,369
減価償却累計額	△1,348,379	△1,538,254
工具、器具及び備品 (純額)	570,421	554,114
土地	8,356,356	8,450,655
建設仮勘定	475,570	46,905
有形固定資産合計	17,952,596	18,321,930
無形固定資産		
のれん	87,791	442,695
その他	113,823	108,439
無形固定資産合計	201,614	551,134
投資その他の資産		
投資有価証券	1,730,022	1,757,943
長期貸付金	53,527	66,278
差入保証金	5,525,638	5,545,726
繰延税金資産	41,382	133,764
その他	140,661	676,761
貸倒引当金	△18,525	△18,596
投資その他の資産合計	7,472,706	8,161,878
固定資産合計	25,626,917	27,034,943
資産合計	36,631,570	42,017,755

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	747,331	738,034
短期借入金	270,000	6,110,000
1年内償還予定の社債	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	3,248,373	3,755,292
リース債務	23,311	17,710
未払金	292,099	356,107
未払費用	1,491,081	1,353,350
未払法人税等	160,036	23,242
未払消費税等	202,573	33,842
賞与引当金	144,282	89,598
資産除去債務	164,873	179,193
その他	257,517	349,940
流動負債合計	7,431,480	13,436,313
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	11,309,964	13,061,787
リース債務	14,399	11,999
長期未払金	136,009	436,009
繰延税金負債	1,426,820	1,435,073
転貸損失引当金	9,750	9,000
退職給付に係る負債	140,232	126,913
資産除去債務	964,295	972,518
その他	804,336	815,372
固定負債合計	15,105,807	17,168,672
負債合計	22,537,287	30,604,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,849,051	6,849,051
利益剰余金	658,746	△2,041,401
自己株式	△35,361	△35,361
株主資本合計	13,310,672	10,610,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,878	293,203
為替換算調整勘定	△55,091	△57,394
退職給付に係る調整累計額	△3,797	△3,366
その他の包括利益累計額合計	209,989	232,442
非支配株主持分	573,620	569,802
純資産合計	14,094,282	11,412,769
負債純資産合計	36,631,570	42,017,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,917,006	3,468,141
売上原価	6,070,971	2,686,554
売上総利益	3,846,035	781,586
販売費及び一般管理費	3,744,286	2,484,295
営業利益又は営業損失(△)	101,749	△1,702,708
営業外収益		
受取利息	2,117	2,078
受取配当金	19,706	18,294
賃貸料収入	16,415	23,742
その他	19,051	27,487
営業外収益合計	57,290	71,602
営業外費用		
支払利息	18,552	27,681
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	10,095	11,242
持分法による投資損失	—	12,408
その他	262	556
営業外費用合計	29,910	52,887
経常利益又は経常損失(△)	129,128	△1,683,994
特別利益		
固定資産売却益	6	1,436
受取補償金	12,500	—
受取保険金	12,061	5,914
助成金収入	—	1,991
特別利益合計	24,567	9,342
特別損失		
固定資産除却損	22,300	16,592
減損損失	2,155	2,300
新型コロナウイルス感染症による損失	—	965,372
特別損失合計	24,456	984,265
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	129,239	△2,658,917
法人税等	63,738	44,466
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65,500	△2,703,383
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15,755	△3,235
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	49,745	△2,700,148

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65,500	△2,703,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,110	24,325
為替換算調整勘定	△27,945	3,980
退職給付に係る調整額	1,189	433
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△4,930
その他の包括利益合計	△27,866	23,809
四半期包括利益	37,634	△2,679,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,289	△2,677,693
非支配株主に係る四半期包括利益	6,345	△1,881

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

レストラン事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるショッピングモールの休業や営業時間短縮等の影響を受けており、この状況が第2四半期以降、徐々に正常化すると見込み、将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。機内食事業においても、世界各国の渡航制限による国際便の減便による影響を受けており、この状況は来年度以降に徐々に正常化すると見込み、将来キャッシュ・フローの見積りを行っており、前連結会計年度末において行った会計上の見積りの前提となる仮定に重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	6,921,926	1,648,868	366,159	175,442	117,080	9,229,476	687,530	9,917,006	—	9,917,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,684	6,044	3,310	—	19,331	45,371	269,530	314,901	△314,901	—
計	6,938,611	1,654,912	369,469	175,442	136,412	9,274,847	957,060	10,231,908	△314,901	9,917,006
セグメント利益又は 損失(△)	221,150	110,470	△112,664	79,433	2,183	300,573	△10,503	290,070	△188,321	101,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△188,321千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	2,130,892	193,377	521,576	175,871	82,390	3,104,109	364,031	3,468,141	—	3,468,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,034	951	6,105	—	6,570	33,662	91,817	125,479	△125,479	—
計	2,150,927	194,328	527,682	175,871	88,961	3,137,772	455,848	3,593,620	△125,479	3,468,141
セグメント利益又は 損失(△)	△1,295,699	△178,256	△58,805	72,193	△38,727	△1,499,295	△39,642	△1,538,937	△163,771	△1,702,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,771千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レストラン事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より(株)雪村及び(株)ゆきむら亭エフシー本部を連結子会社化しており、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において367,436千円であります。